

忍者修行の巻

IN 甲賀忍術村

活動日時：10月13日（月祝）

活動プログラム：

午前	挨拶・出発	おはようございます!晴れて、気温も高い活動日和のもと、存分に一日を楽しもう!!忍者の里へ出発～。
	忍者屋敷見学	忍び装束に着替えて、忍者に変身しよう。午前中は本物の忍者が住んでいたお屋敷を見学するよ。部屋のあちこちに沢山の仕掛けがあって、本物の臨場感を感じる事が出来るね。
午後	昼食	午後からは体をいっぱい動かして忍者になりきるよ。しっかり食べて、体力をつけて、午後からも頑張ろう!!
	忍者修行	忍者修行に挑戦するよ。まずは本物の手裏剣を投げる体験をするよ。上手に投げて、的を狙うことが出来るかな? 次に実技として、【壁登り】に挑戦しよう。足場を見つけ、登りやすいルートを確認しよう。壁づたいや壁張り付きなどの術を体験し、最後は【水蜘蛛の術】にチャレンジするよ。落ち着いて、ゆっくり進んでいこう。バランスを崩さないよう姿勢を保つことが大切だよ。上手く対岸へ渡る事が出来たね。
	出発・まったねえ	あっという間の忍者体験だったね。忍者の心得を学ぶことが出来たかな?体験したことをおうちの方に沢山話してね。まったねえ～。



<全体感想>

TOPの活動は、異年齢が混合したグループ構成が基本です。毎月の定例活動からその関わり合いを重視しており、特に学年が上がるにつれて、自分より年下のメンバーへ声を掛けるよう促しています。しかし、そもそも声の掛け方が分からず苦戦されている場面も多く見受けられます。今回の活動の中で、ある“京っこメンバー”の印象的な声掛けがありました。その方は、年長さんメンバーに対して、話のきっかけとして、「〇〇ちゃんは何の修行が楽しみ?」と問いかけておられました。一見するとごく普通の会話ですが、この【相手の考えを引き出す問いかけ】は、意外にも出来ない方が多いです。どちらかと言うとリーダーが行う声掛けに近いと感じます。これは、相手に興味を持っていないと出来ない発言であり、一方的ではないコミュニケーションが生まれます。声を掛けられたメンバーは、その会話を通じて活動がより楽しみになり、今まで以上に打ち解けておられました。年上のお兄さんお姉さんから声を掛けてもらえると、誰だって嬉しい気持ちになるはず。今後も、活動経験を長く積んできているメンバーから意識的に、『声掛けのバトン』を繋いでいってほしいと願っています。

(竹中 哲郎)